



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団  
ニュース

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468

市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

### 衆議院 解散

## 安心と希望ある未来へ 自公政治に明確な終止符を

比例区は  
日本共産党

7月21日に衆議院が解散され、8月30日の投票日に向けて、総選挙の実質的なスタートが切られました。日本共産党市議団は「自公政治に終止符を打つ明確な審判を下し、今後の日本の政治の進路を選択する歴史

的な選挙。日本共産党の前進で安心と希望の未来ある日本を」と連日訴えています。解散当日の夕方、磯原サニユー前での演説のさいには、ジューズや弁当の差し入れがあり、「いつもがんばっ

## 消防ポンプ操法大会



市消防ポンプ操法競技大会が、7月19日、よう・そろー前の広場で開かれました。市内では7年ぶりの開催です。19の分団から、ポンプ車部門および小型ポンプ車部門に、8チームずつが参加しました。優勝は、それぞれ富士ヶ丘チームと神岡チームで、9月27日に常陸大宮市で開かれる県北地区に出場します。

## 県内の漁獲高が 大幅に減少

今年、上半期

大津、平潟をはじめ県内漁業の漁獲高が今年度の上

半期、昨年比べて大幅に減少しています。大津漁協では「昨年に比べて漁は半分。これでは小型船をはじめ巻き網船の漁業者も生活できないので、漁協が救済資金の貸付を開始した。返済は漁のあったときにするとしたが、これが組合(漁協)のよいところである」と話しています。また、「国の補正予算に関連しての漁業向け資金も来年3月に出る予定だが、それでは間に合わない。何よりも海の状態が変わればいいのだが」と話しています。

この漁獲減について、県水産試験場では「海の状態によるものだが、何が原因かはわからない。平成9年からでは最低の漁獲量である。沿岸の底曳き船の漁獲は、前年に比べて大津が4分の1、平潟が2分の1になつてい」と話しています。

また、底引き漁業の主要港である大津・平潟、久慈浜、那珂湊の前年度比(4ヶ月)の漁獲量は上表のとおりで、昨年10年ぶりの豊漁だったヤリイカのほか、ミズダコ、スルメイカの主要

底引き網の漁獲量

	昨年	今年
ヤリイカ	637 <sup>ト</sup>	147 <sup>ト</sup>
ミズダコ	208 <sup>ト</sup>	104 <sup>ト</sup>
スルメイカ	91 <sup>ト</sup>	41 <sup>ト</sup>

ているのは共産党。自民党政治を終わらせてほしい」との激励を受けました。また、市内各所で激励や拍手が相次ぎました。

党市議団は「市内で比例票を2500票以上確保し、北関東ブロックでの議席を現在の1名から2名以上にするために全力をつくす」と話しています。

## 大津港の「シラス」ツアー

7月19日、20日、よう・そろー海の日まつりにあわせて「シラスツアー」が催され、市内外からの参加

がありました。シラスと漁についての講習の後、開発中の冷凍生シラスの試食と、そして漁養体験というメニューが用意され、好天にもめぐまれました。



シラスの生態と漁業についての講習



冷凍生シラスの試食



乗船して漁業体験

な3種類がいずれも減少しています。そのうえ「魚の単価も安くなつており、漁業者は大変だと思う」と試験場では話しています。

日本共産党は「日本は有数の漁場を持ちながら、世界の水産物貿易の4分の1を輸入する世界最大の輸入国であり、水産物の自給率は52%にすぎない。漁業経営の安定のために、政府の責任で価格安定対策を強化し、休漁・減船補償などを実施することを一貫して求めています。」